

下野氏が出馬表明

医療法人
理事長 貝原県政を批判

兵庫県の貝原俊民知事の辞意表明で、七月に予定される参院選との同時選挙が濃厚な次期県知事選に、医療法人理事長で、国際医療ボランティア団体「アジア医師連絡協議会」(AMDA・本部岡山)メンバーの下野國夫氏(五七)姫路市青山

が三十一日までに、立候補する意向を明らかにした。

同知事選には、井戸敏三副知事(五五)の立候補が有力視されているほか、共産党などでつくる「革新兵庫県政をつくる会」が候補擁立の方針を固めているが、立候補表明は

下野氏が初めて。政党推薦は求めないといい、医師仲間らに支援の動きがあるとしている。

下野氏は堺市出身。阪神・淡路大震災直後、AMDA派遣医師団団長として神戸市長田区に入り、約一カ月間治療にあたった。岡山県備前市で



下野國夫氏

問題がある」などと貝原

神戸新聞社の取材に対し、同氏は「震災時の対応や今回の辞意表明には

に支部を持つ国連登録NGO(非政府組織)。災害被災地、難民キャンプに医師らを派遣している。

知事を批判。「選挙運動は行うとしても神戸が中心」と話している。

AMDAは三十九国